

設計意図発掘ツール



AtScope

インストールマニュアル



BACKSLASH
DESIGN

目次

1	インストール.....	3
1.1	AtScope をインストールする.....	3
1.2	ライセンス登録の種類.....	5
1.3	単体ライセンス登録：ライセンスキーと利用コードを入力する.....	6
1.4	フローティングライセンス登録：ライセンスサーバを利用する.....	8
2	ライセンス更新.....	11
2.1	単体ライセンス登録：利用コードを入力する.....	11
2.2	フローティングライセンス登録：フローティングライセンスを再設定する ..	13
3	バージョンアップ.....	15
3.1	AtScope をインストールする.....	15
4	アンインストール.....	16
5	困ったときは.....	17
	インストールできない.....	17
	利用コードが更新できない.....	17
	インストール終了が確認できない.....	17
	バージョンを確認したい.....	17

はじめにお読みください

- AtScope は、Enterprise Architect がインストールされたパソコンでお使いください。Enterprise Architect Version16 で動作確認済みです。



Enterprise Architect は、「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」製のモデリングツールです。詳しくは、「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」にお問い合わせください。

- 対応 OS は、Windows 10/11 で動作確認済みです。
- インストールには、PC の管理者権限が必要です。管理者権限を持つユーザでインストールしてください。
- AtScope を使用するには、ライセンスキーと利用コードが必要です。最初の起動時に入力してください。利用コードには有効期限がありません。更新時には新しい利用コードを入力してください。
- フローティングライセンスの場合は、「AtScope フローティングライセンス」が必要です。ライセンスサーバに登録してお使いください。

このマニュアルの表記について

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 注意	お使いになるときに注意していただきたいことを記述しています。
 POINT	操作に関連することを記述しております。必要に応じてお読みください。

画面例について

表記されている画面は一例です。バージョンなどお使いの状況により、画面が異なることがあります。

1 インストール

設計意図発掘ツール AtScope を新規にインストールする場合には、インストール、および、ライセンスキーと利用コードの入力を行います。

1.1 AtScope をインストールする

AtScope のインストール方法を説明します。

1 「AtScope_Setup」ファイルをダブルクリックします。



「AtScope_Setup」ファイルは zip ファイルです。

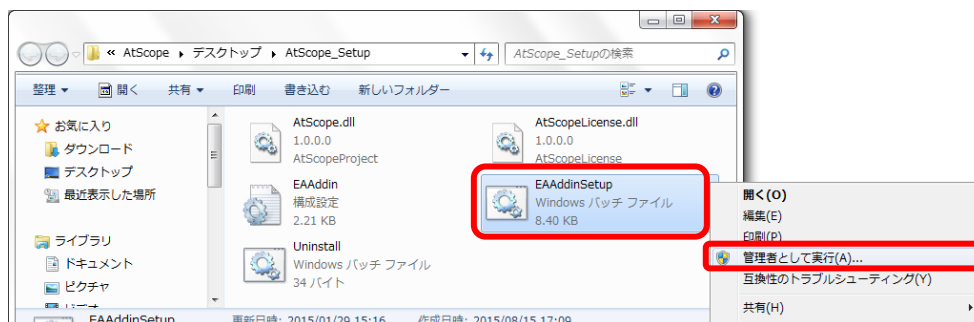
「AtScope_Setup」ファイルが解凍され、「AtScope_Setup」フォルダーが開かれて、フォルダー内のデータが表示されます。

2 「AtScope_Setup」フォルダを任意の場所に保存します。



「AtScope_Setup」フォルダには、アンインストール時に使用するバッチファイルが含まれています。

3 「AtScope_Setup」フォルダの「EAAddinSetup」ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



「コンピュータへの変更を許可しますか？」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

コマンドプロンプト画面が表示され、AtScope のインストールが実行されます。

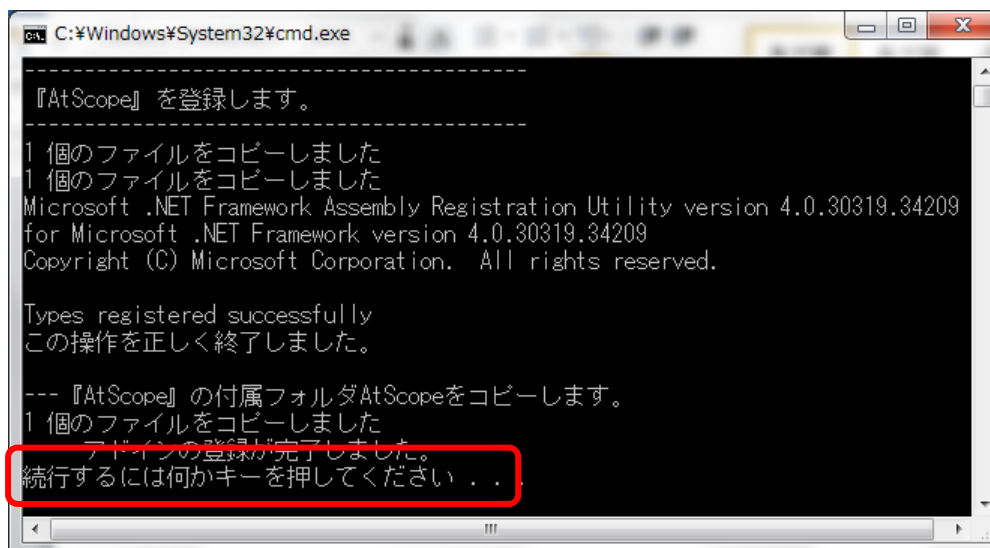


注意

EnterpriseArchitect 32 ビット版をお使いの方は、EA32 フォルダの「EAAddinSetupEA32」ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択してください。

4 キーボードの任意のキーを押します。

インストールが完了すると、「-----アドインの登録が完了しました。-----」「続行するには何かキーを押してください...」というメッセージが表示されます。



```
C:\Windows\System32\cmd.exe

-----
『AtScope』を登録します。
-----
1 個のファイルをコピーしました
1 個のファイルをコピーしました
Microsoft .NET Framework Assembly Registration Utility version 4.0.30319.34209
for Microsoft .NET Framework version 4.0.30319.34209
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Types registered successfully
この操作を正しく終了しました。

--- 『AtScope』の付属フォルダAtScopeをコピーします。
1 個のファイルをコピーしました
-----アドインの登録が完了しました。
続行するには何かキーを押してください...
```

注意 「▲エラー: -----アドインの登録に失敗しました。-----」というエラーメッセージが表示された場合は、「1.3 アドイン登録に失敗した場合、実行環境をインストールする」を参照してください。

コマンドプロンプト画面が閉じます。これで AtScope のインストールは完了です。

1.2 ライセンス登録の種類

AtScope のライセンス登録には、2 つの種類があります。

■ 単体ライセンス登録

ライセンスキーと利用コードの入力による認証方法です。

■ フローティングライセンス登録

Enterprise Architect が提供するフローティングライセンスを利用した登録方法です。

ライセンスサーバの設置が必要となります。

AtScope フローティングライセンスを、ライセンスサーバに登録して利用いただけます。

1.3 単体ライセンス登録: ライセンスキーと利用コードを入力する

ライセンスキーと利用コードの入力方法を説明します。

1 Enterprise Architect を起動します。

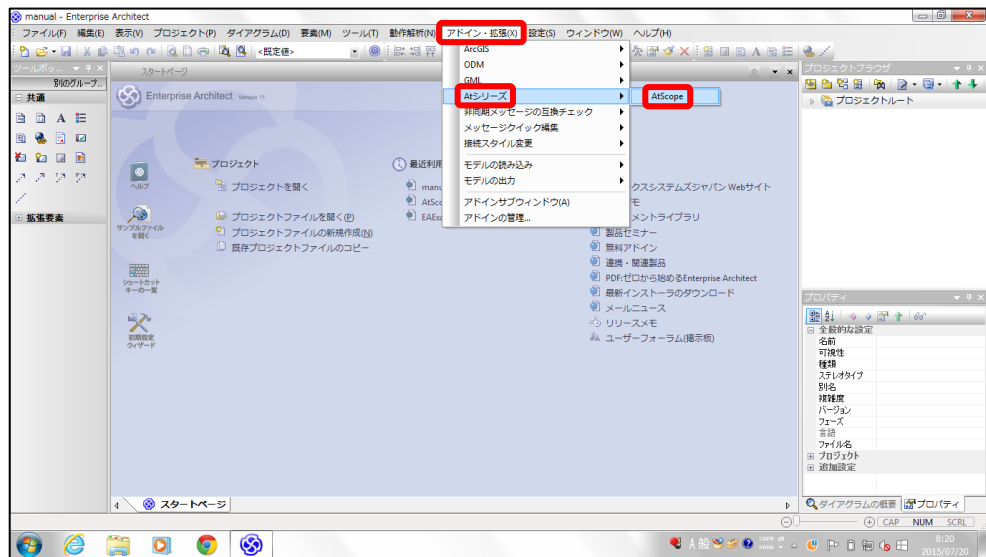
2 Enterprise Architect のプロジェクトを開きます。

注意 プロジェクトを開かないで次の手順を実行すると、AtScope が起動しません。任意のプロジェクトファイルを開くか、または新規プロジェクトを作成してください。



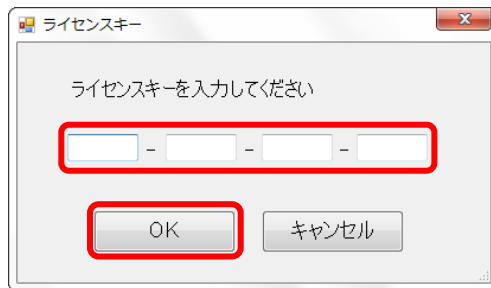
POINT Enterprise Architect の操作方法については、「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の説明資料をご覧ください。

3 「アドイン・拡張」→「At シリーズ」→「AtScope」を選択します。



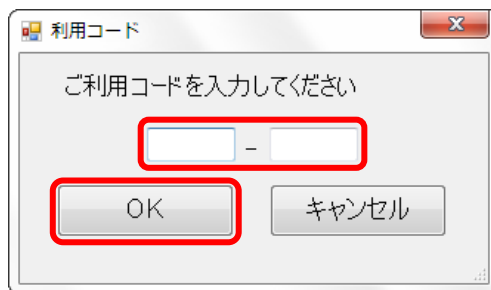
「ライセンスキー」画面が表示されます。

4 16桁のライセンスキーを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

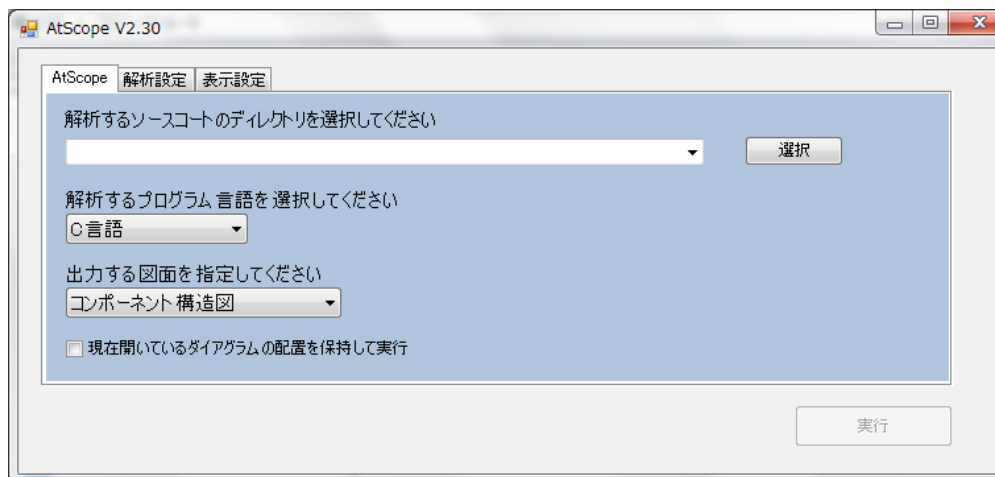


次に「利用コード」画面が表示されます。

5 8桁の利用コードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



AtScope が起動し、「AtScope V*.*」画面の「AtScope」タブが表示されます (**の部分には数値が入ります)。



これで、AtScope を使用するための準備は完了です。

1.4 フローティングライセンス登録:ライセンスサーバを利用する

ライセンスサーバを利用して、フローティングライセンスを登録する方法を説明します。

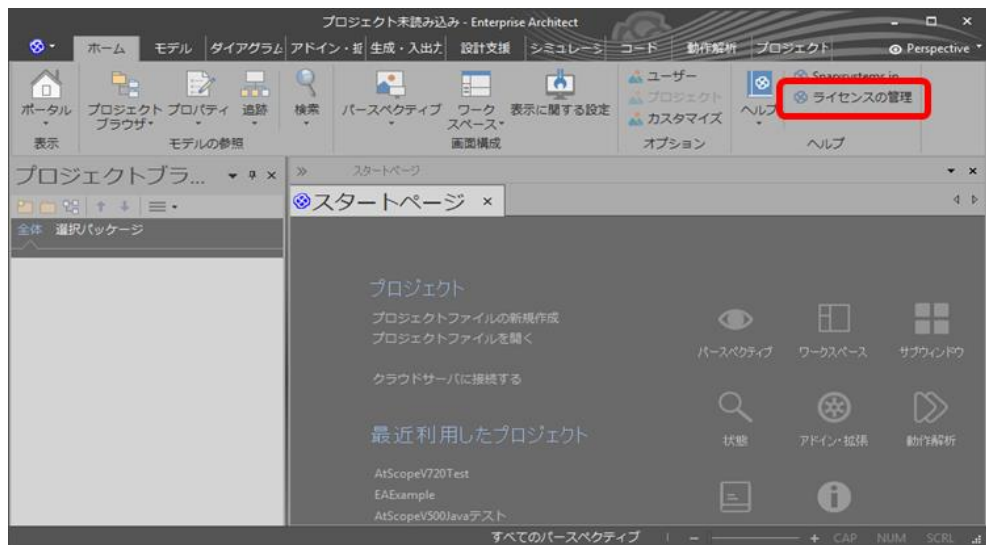
注意 Enterprise Architect のフローティングライセンスが登録されていることが前提です。
ライセンスサーバの設置方法については、「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の「Enterprise Architect フローティングライセンスマニュアル」をご覧ください。

1 ライセンスサーバに「AtScope フローティングライセンス」を登録します。

POINT フローティングライセンスの登録方法については、
「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の説明資料
「Enterprise Architect フローティングライセンスマニュアル」の
「4. ライセンスキーの登録」をご覧ください。

2 Enterprise Architect を起動します。

3 「ホーム」→「ヘルプ」→「ライセンス管理」を選択します。



「ライセンスの管理」画面が表示されます。

4 使用するフローティングライセンスを設定します。

※設定例



フローティングライセンスの設定方法については、「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の説明資料「Enterprise Architect フローティングライセンスマニュアル」の「6. Enterprise Architect 側の設定手順」をご覧ください。

5 Enterprise Architect を再起動(一旦終了して起動)します。



Enterprise Architect を再起動しないで次の手順を実行すると、フローティングライセンスが使用できません。

6 Enterprise Architect のプロジェクトを開きます。

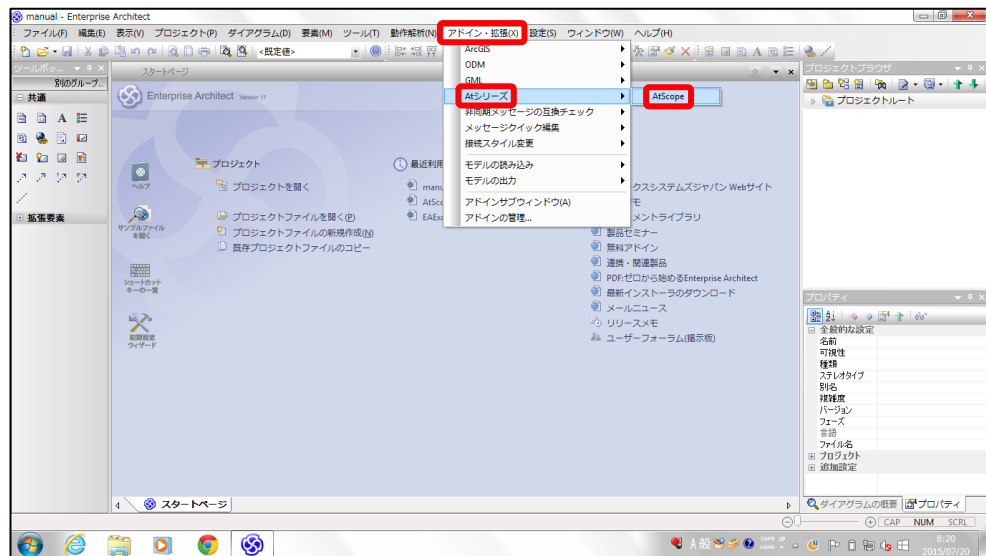


プロジェクトを開かないで次の手順を実行すると、AtScope が起動しません。任意のプロジェクトファイルを開くか、または新規プロジェクトを作成してください。

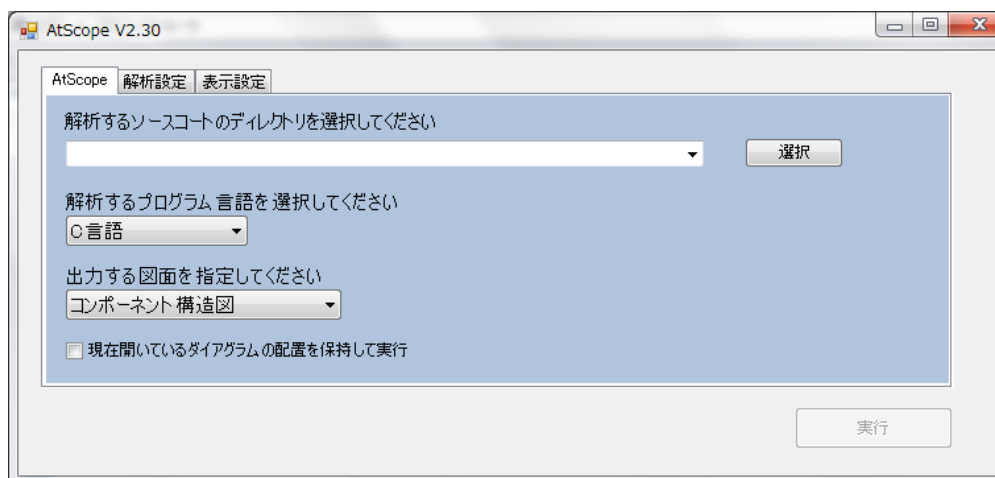


Enterprise Architect の操作方法については、「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の説明資料をご覧ください。

7 「アドイン・拡張」→「At シリーズ」→「AtScope」を選択します。



AtScope が起動し、「AtScope V*.**」画面の「AtScope」タブが表示されます (**の部分には数値が入ります)。



これで、AtScope を使用するための準備は完了です。

2 ライセンス更新

ライセンスの有効期限を過ぎると AtScope は使用できなくなります。その場合、新しい利用コードを入力するか、フローティングライセンスを再設定して有効期限を更新してください。

2.1 単体ライセンス登録: 利用コードを入力する

ライセンス有効期限を過ぎた時点で、AtScope を起動すると、自動的に利用コードの入力画面が表示されます。利用コードの入力方法を説明します。



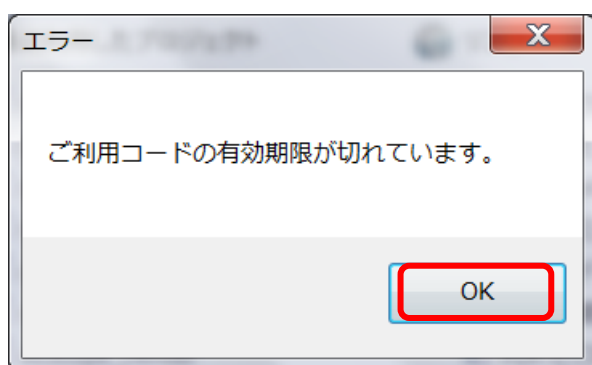
Enterprise Architect と AtScope の起動の手順は、「1 AtScope のインストール」「1.3 単体ライセンス登録: ライセンスキーと利用コードを入力する」での手順と同様ですので、詳細はそちらを参照してください。

-
- 1 Enterprise Architect を起動します。

 - 2 Enterprise Architect のプロジェクトを開きます。

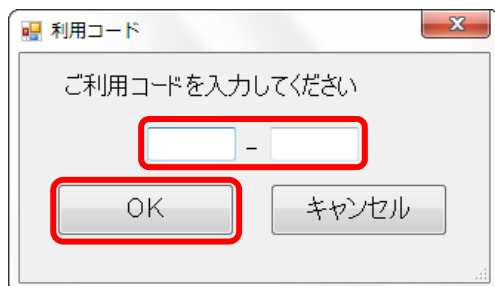
 - 3 「アドイン・拡張」→「At シリーズ」→「AtScope」を選択します。

 - 4 利用コードの期限切れを知らせるメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



次に「利用コード」画面が表示されます。

-
- 5 新しい有効期限の、8桁の利用コードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



AtScope が起動し、「AtScope V*.**」画面が表示されます。
これで、ライセンスの更新は終了です。

2.2 フローティングライセンス登録:フローティングライセンスを再設定する

ライセンス有効期限を過ぎた時点で、AtScope を起動すると、フローティングライセンスの期限切れのメッセージが表示されます。フローティングライセンスの再設定の方法を説明します。



Enterprise Architect と AtScope の起動の手順は、「1 AtScope のインストール」「1.4 フローティングライセンス登録:ライセンスサーバを利用する」での手順と同様ですので、詳細はそちらを参照してください。

1 Enterprise Architect を起動します。

2 「ホーム」→「ヘルプ」→「ライセンス管理」を選択します。

「ライセンスの管理」画面が表示されます。



3 使用している AtScope のフローティングライセンスを解放します。



フローティングライセンスの解放方法については、「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の説明資料「Enterprise Architect フローティングライセンスマニュアル」の「6. Enterprise Architect 側の設定手順」をご覧ください。

-
- 4 ライセンスサーバに登録されているライセンス一覧から、使用していた AtScope のフローティングライセンスを削除します。



フローティングライセンスの削除方法については、
「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の説明資料
「Enterprise Architect フローティングライセンスマニュアル」の
「3. ライセンスマネージャーについて」をご覧ください。

-
- 5 ライセンスサーバに 有効期限を更新した AtScope のフローティングライセンスを登録します。



フローティングライセンスの登録方法については、
「スパークスシステムズ ジャパン株式会社」の説明資料
「Enterprise Architect フローティングライセンスマニュアル」の
「4. ライセンスキーの登録」をご覧ください。

-
- 6 Enterprise Architect を起動します。

-
- 7 「ホーム」→「ヘルプ」→「ライセンス管理」を選択します。

「ライセンスの管理」画面が表示されます。

-
- 8 使用するフローティングライセンスを設定します。

-
- 9 Enterprise Architect を再起動(一旦終了して起動)します。

-
- 10 Enterprise Architect のプロジェクトを開きます。

-
- 11 「アドイン・拡張」→「At シリーズ」→「AtScope」を選択します。

AtScope が起動し、「AtScope V*.*」画面の「AtScope」タブが表示されます (**の部分には数値が入ります)。

これで、AtScope を使用するための準備は完了です。

3 バージョンアップ

AtScope のバージョンアップ方法を説明します。



手順は、「1 インストール」の「1.1 AtScope をインストールする」の手順と同様です。「1.3 単体ライセンス登録:ライセンスキーと利用コードを入力する」、「1.4 フローティングライセンス登録:ライセンスサーバを利用する」の手順は不要です。

既に異なるバージョンの AtScope がインストールされている場合に、アンインストールは不要です。もしアンインストールした場合は、新バージョンを「1 インストール」の手順でインストールしてください。

3.1 AtScope をインストールする

- 1 「AtScope_Setup」ファイルをダブルクリックします。

「AtScope_Setup」ファイルが解凍され、「AtScope_Setup」フォルダーが開かれます。

- 2 「AtScope_Setup」フォルダを任意の場所に保存します。

- 3 「AtScope_Setup」フォルダの「EAAddinSetup」ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

「コンピュータへの変更を許可しますか?」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

コマンドプロンプト画面が表示され、AtScope のインストールが実行されます。

インストールが完了すると、「———アドインの登録が完了しました。———」「続行するには何かキーを押してください...」というメッセージが表示されます。

- 4 キーボードの任意のキーを押します。

コマンドプロンプト画面が閉じます。これで AtScope のインストールは完了です。

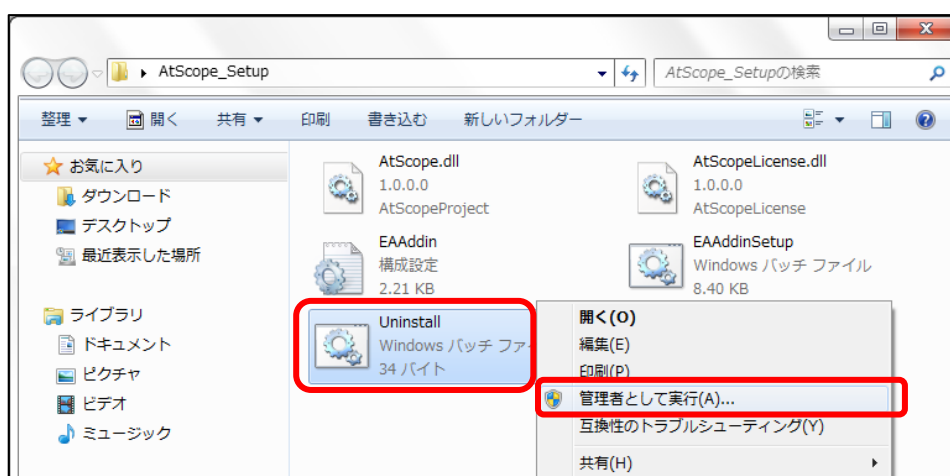
4 アンインストール

AtScope のアンインストール方法を説明します。

- 1 インストール時に保存しておいた「AtScope_Setup」フォルダーを開きます。

保存されていない場合には、インストール CD から再度
注意 「AtScope_Setup」を解凍し、保存してください。

- 2 「Uninstall」ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



「コンピュータへの変更を許可しますか？」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

コマンドプロンプト画面が表示され、AtScope のアンインストールが実行されます。
アンインストールが完了すると、「-----アドインの削除が完了しました。-----」「続行するには何かキーを押してください。...」というメッセージが表示されます。

- 3 キーボードの任意のキーを押します。

コマンドプロンプト画面が閉じます。これでアンインストールは完了です。

5 困ったときは

インストールできない

- EAAddinSetup 実行時にエラーが起きる。
「1.3 アドイン登録に失敗した場合、実行環境をインストールする」を確認してください。

利用コードが更新できない

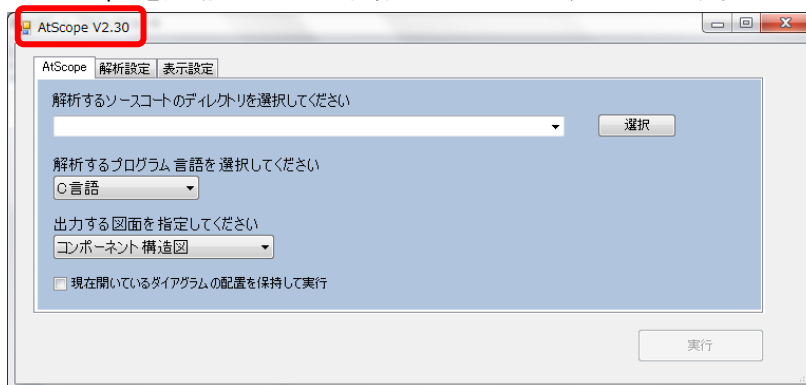
- 利用コードの入力画面が開けない。
有効期限を更新する際に、新しい利用コードを入力するための入力画面は、有効期限が過ぎた後に、自動的に表示されます。有効期限後に、更新を実施してください。

インストール終了が確認できない

- コマンドプロンプト画面が出ないので確認できない。
Windows10 では、コマンドプロンプト画面が表示されません。AtScope が起動した画面で AtScope のバージョンを確認してください。

バージョンを確認したい

- インストール済みの AtScope のバージョンを確認したい。
AtScope を起動した画面の名称にバージョンが表示されます。



発行責任 ビースラッシュ株式会社
〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-20-12
新横浜望星ビル 8F

support@bslash.co.jp

<http://www.bslash.co.jp/>

発行 2023 年 7 月

Ver.8.00
